

かわぐち

2007. 1月号 No.399

あけまして
おめでとうございます

今月の主な内容

- 年頭のごあいさつ……………2
- 町財政健全化推進委員会を発足……3
- 合併についての住民投票の実施……4
- 平成19年から所得税と住民税の
税率が変わります……………5
- 西川口住宅と小高住宅の入居開始 ……6

ほか



気分はお正月! かるた遊び

東川口保育園

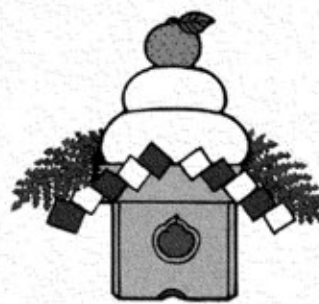
中越大震災川口町復興標語

元気出せ 力を合わせて復興だ
大地震 地域のきずなに大きな自信
広げよう 夢と希望の川口町
忘れるな災害の怖さ 持ちつづけよう防災の心

人口のうごき

18. 12. 16 現在 * ()内は前回からの増減

男	2,567人	(-13)
女	2,795人	(-11)
人口計	5,362人	(-24)
世帯数	1,534世帯	(±0)

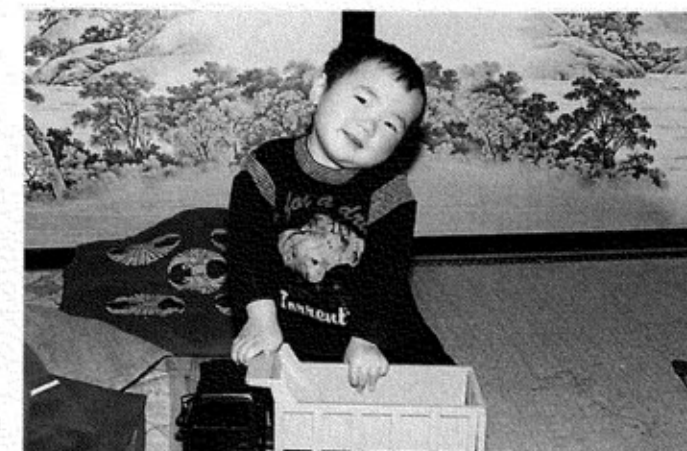


元気です!かわぐちっこ

113

星野 悠斗 ちゃん (木沢・2歳)

おとうさん 達男さん おかあさん 和子さん



元気いっぱいの悠斗くん、お父さんやお母さんが仕事から帰ってくると玄関に喜んで飛び出します。外で砂遊びをしたり、おじいちゃんの畑仕事を手伝ってくれます。雪が降ったときには大喜びで雪だるまを作って遊びました。風呂敷を首に巻いておねえちゃんとお姫様、王子様ごっこをすることがお気に入りの悠斗くんでした。

俳句 (11月) 大内迪子先生選

特選句

おけさ柿剥きて話の弾みけり
豆落す夫の手の先見えるまで
裏の畑まで追ひかけて林檎売
秋麗回転椅子をまたまわし
秋野菜宝船にし農業祭
風そよぐ当たりにも秋桜

入選句
百姓の子にしてこの手小鳥来る
午後の日を追ひかけ小豆筵かな
吹きすすの落葉の庭の朝の風
森のぼる田終ひ煙みゆく
熊の出る看板出して山の秋
紅き月静かに昇る峽の村
杉の玉蔵に吊され新走
小流れに鴨の子遊ぶ日和かな
白露に鳴けぬちろの運命かな
外国の人の行き交ふ菊まつり

山田 チヨ
岡村 佐和子
上村 たつお
丸山 好枝
佐藤 信
鈴木 良仙
中沢 昭一
星野 きの
真島 セツ
三輪 京子
目黒 せつ
山田 久子
渡辺 登子
森山 菊江
石坂 シゲ
藤田 節子

次会のお知らせ

1月7日(日) 生涯学習センター 13時から

年頭のごあいさつ

川口町長 岡村 譲



翻弄された年であったと思いますが、町の将来を決する大事な時とご理解をいただき、お許しをいただきたいと思えます。

町長に就任してから丸1年が過ぎることから、37会場で「普段着トーク」を開催させていただきました。

年末の気忙しい時期にも関わらず、延べ800人を超える方々からご参加いただきました。

きつと一瀉千里のごとくの町政運営にお叱りが多く寄せられるものと覚悟しておりましたが、激励の言葉も数多く、合併や財政問題についてのご意見を多くいただき、町民の皆様の関心が非常に高いことを痛感いたしました。

本年は、町制施行50周年の節目の年に当たりますが、川口町にとって新たな歴史を刻む合併についての決断すべき年であるとともに、かつてない財政困窮の克服の年であり、まさに歴史の大きな転換点に立っていると云えます。

合併先の決定については、今の生活の損得にこだわらず、国が進める地方分権を鑑み、少なくとも十数年後のあるべき自治体の姿を想像し、自らの意思で決断していただきたいと思っております。

財政の健全化については、町内有識者による「財政健全化推進委員会」において、現行の事務事業の見直しと財源確保のあり方などについて審議されておりますが、調査報告を待つ町民の皆様には財政健全化計画をお示しし、ご理解をいただくようにしたいと思っております。

宿泊施設については、本年夏の営業再開を目指し復旧工事を進めております。施設運営については、民間企業による独立採算制で運営するため、指定管理者制度を採用する予定でおります。

なお、えちご川口農業振興公社に対しては、行政が経営に直接携わること、株式会社本来の目的を阻害することになるものと思っております。このため全国規模でサービス業を展開し、かつ、信用できる企業からお手伝いをいただく必要があると考えております。

宿泊施設のみならず、中山高原全体を視野に入れ、良質な川口温泉を利用した温泉療養施設の新たな

な起業の検討も含め、民間企業に参加の打診を行っているところでもあります。

温泉施設を始めとする中山高原一帯の施設は、これからの広域行政を考えると、「元氣な川口町」を形成するために不可欠な「交流人口の拡大」と「町内経済の活性化」の大切な拠点であり、今後町民の経済活動との関わりを仕組みをどのように創り上げることでできるかがポイントになるものと考えております。「みんなで築くまちづくり」を目指すにあたり、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本年が皆様にとって健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

合併先の決定については、今の生活の損得にこだわらず、国が進める地方分権を鑑み、少なくとも十数年後のあるべき自治体の姿を想像し、自らの意思で決断していただきたいと思っております。

財政の健全化については、町内有識者による「財政健全化推進委員会」において、現行の事務事業の見直しと財源確保のあり方などについて審議されておりますが、調査報告を待つ町民の皆様には財政健全化計画をお示しし、ご理解をいただくようにしたいと思っております。

宿泊施設については、本年夏の営業再開を目指し復旧工事を進めております。施設運営については、民間企業による独立採算制で運営するため、指定管理者制度を採用する予定でおります。

なお、えちご川口農業振興公社に対しては、行政が経営に直接携わること、株式会社本来の目的を阻害することになるものと思っております。このため全国規模でサービス業を展開し、かつ、信用できる企業からお手伝いをいただく必要があると考えております。

宿泊施設のみならず、中山高原全体を視野に入れ、良質な川口温泉を利用した温泉療養施設の新たな

な起業の検討も含め、民間企業に参加の打診を行っているところでもあります。

温泉施設を始めとする中山高原一帯の施設は、これからの広域行政を考えると、「元氣な川口町」を形成するために不可欠な「交流人口の拡大」と「町内経済の活性化」の大切な拠点であり、今後町民の経済活動との関わりを仕組みをどのように創り上げることでできるかがポイントになるものと考えております。「みんなで築くまちづくり」を目指すにあたり、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本年が皆様にとって健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

財政の再建に向けて 町財政健全化推進委員会を発足

町財政の危稔的な現状を打開するため、12月21日に町財政健全化推進委員会が発足し、第1回委員会が行われました。

早期の財政再建に向け設置

町財政健全化推進委員会は、町の財政難の原因究明や課題の提起、財政健全化の実行・実現性について調査検討を行い、広く町民に周知、協働して町財政の健全化を図ることを目的に設置されたものです。

第1回委員会で今後の

活動内容を審議

第1回委員会では、委員長、副委員長、委員、各団体・組織の代表者、個人など幅広い分野から12人の委員が任命されました。

同委員会は町長の諮問に応じて答申を行います。

委員には、有識者や議会、庁内各団体・組織の代表者、個人など幅広い分野から12人の委員が任命されました。

委員長の選任後、設置の趣旨、町の財政健全化への取組及び財政状況などの説明を行い、今後の活動内容などについて審議が行われました。

今後の委員会における議論の内容、審議結果などは、広報かわぐちなどを通じて広く公開していきます。

問い合わせ 総務課

☎89-3111

町臨時職員を募集します

町では、平成19年4月採用予定の臨時職員を次のとおり募集します。

職種 給食調理員

募集人員 1名

応募資格 ・概ね55歳まで

・調理師免許有資格者及び取得見込者

採用日 平成19年4月1日

申込期間 平成19年1月4日

～1月25日

応募手続 役場総務課に履歴書を提出してください。

面接日時 後日連絡します。

賃金及び福利厚生

川口町の規定によります。

問い合わせ 総務課

☎89-3111



町財政健全化推進委員紹介 (敬称略)

任期 平成18年12月21日～
平成19年12月20日

氏名	地区
委員長 丸山 恒久	長坂区
副委員長 中林 幹夫	川口3
委員 丸山 東威	上河原
〃 真鳥 勝治	川口1
〃 関 哲雄	川口2
〃 古田島 祐豊	木沢
〃 保科 光雄	牛ヶ島
〃 岡村 健市	岩出原
〃 山下 孝正	荒屋
〃 星野 裕男	原新田
〃 渡部 久一	川岸
〃 涌井 清嗣	前原

「川口町の合併について意思を問う 住民投票条例」を施行

住民投票を2月4日に実施

住民投票条例可決

12月20日、「川口町の合併について意思を問う住民投票条例」が町議会で可決成立しました。

これは12月4日、条例制定請求代表者の喜多村泰夫氏及び佐藤伸広氏により川口町条例（川口町の合併について意



岡村町長が町議会で住民投票条例について意見を述べた

思を問う住民投票条例）制定請求書が町へ提出されたことを受け、12月20日、地方自治法の規定により意見を付して町議会に付議、若干の修正を加え全会一致で賛成され、同条例制定が可決されたものです。

同条例は12月25日に公布、施行されました。

住民投票の実施は

条例では施行から50日以内に住民投票を実施することが定められています。

これにより町では、次のとおり住民投票の実施日を定めました。

投票日 2月4日（日）

告示日 1月30日（火）

住民投票の内容は

実施される住民投票は、長岡市と小千谷市のどちらかを選択する二者択一（どちらかに○印をつける）の方法となり、期日前投票及び不在者投票もできます。なお、投票者が過半数に達しない場合は成立しません。

投票の資格を有する人は、次のいずれにも該当する人です。

①平成元年4月1日以前に生まれた日本国籍を有する人又

平成19年から 所得税と住民税の税率が変わります

税源移譲に伴う税率の変更

「地方のことは地方で」という方針のもと、地方分権を進めていく「三位一体改革」に伴う「税源移譲」により、所得税（国税）と住民税（地方税）の税率が変わります。

これにより国の税収が減り、地方の税収が増えることとなります。

所得税は平成19年1月分から適用され、表1のように4段階の税率が6段階に細分化されます。

住民税は平成19年6月分

所得税の税率表（表1）

課税所得	税率
330万円以下	10%
900万円以下	20%
1,800万円以下	30%
1,800万円超	37%

課税所得	税率
195万円以下	5%
330万円以下	10%
695万円以下	20%
900万円以下	23%
1,800万円以下	33%
1,800万円超	40%

住民税の税率表（表2）

課税所得	税率
200万円以下	5%
700万円以下	10%
700万円超	13%

課税所得	税率
一律 (所得区分なし)	10%

ら適用され、表2のように3段階の税率が一律10%（県民税4%・町民税6%）の税率に変更となります。

納税者の負担総額は 変わりません

税率の変更後、住民税額は増加しますが、所得税額が減少するので、納税者の負担総額は変わりません。

定率減税は廃止されます

平成11年度から景気対策のために税負担の軽減措置として導入されていた定率減税（所得税で税額の10%相当の減額分、住民税で税額の7・5%相当の減額分）が廃止されます。

問い合わせ 税務会計課

☎ 89-44414

は永住外国人
②投票日において引き続き3カ月以上住所を有する人
投票立会人を募集します

住民投票の実施に伴い、町選挙管理委員会では投票立会人を募集します。

立会いは当日の投票のほか、1月31日から2月3日までの期日前投票の立会いがあります。

選挙と異なり今年度中に満18歳となる方や永住外国人の方も今回の立会人の対象となる場合がありますので、気軽にお問い合わせください。

希望する方は、1月19日（金）までに総務課（選挙管理委員会）へご連絡ください。
問い合わせ 総務課
☎ 89-3111

町の公共施設内を 全面禁煙にします

1月から実施に

健康増進法の趣旨に基づき、受動喫煙による健康被害のない環境づくりをすすめるため、1月から町の公共施設内（役場庁舎、学校、生涯学習センター、ぬくもり荘、末広荘、川口温泉など）は、全面禁煙にします。

なお、喫煙場所は主に施設の外に設置しますので、皆さんからのご理解とご協力をお願いします。

受動喫煙とは

室内やそれに準じる場所で自分の意思に関係なく他人のたばこの煙をすわされることです。

問い合わせ 町民課

☎ 89-44418



高齢者や障害者が安全に避難できるように 要援護者支援の調査を実施します

町では地域包括支援センターや民生委員などの協力を得ながら日中又は夜間に避難支援が必要な方の調査を行い、行政と地域が協力して安全、迅速に避難できるように体制づくりを行います。

震災時の反省を踏まえて

中越大震災では住民側での安否確認が行われましたが、町の保健福祉分野においては、迅速な支援体制が十分にできませんでした。これらの反省点を踏まえて災害時に迅速な避難支援が行えるように調査を実施します。皆様からのご協力をお願いします。

問い合わせ 福祉保健課
☎ 89-44419
地域包括支援センター
☎ 89-3974

調査対象者

65歳以上の一人暮らし、高齢者世帯、障害や持病などのある方



西川口住宅と 小高住宅で入居開始

建設工事を進めていた西川口地区のり災者公営住宅（西川口住宅）及び小高地区集団移転地の小規模改良住宅（小高住宅）が完成し、それぞれ入居が始まりました。

西川口地区り災者公営住宅

（西川口住宅）

川岸地区を建設場所とし、平成18年4月から宅地造成、同年6月から建設工事に着手し、早期の完成を目指して工事を進めてきました。

構造は木造高床連棟式で2DKが13戸、3LDKが12戸です。12月15日に道路舗装が完了し、16日から入居が始まりました。



▲西川口住宅

小規模改良住宅（小高住宅）

小規模住宅地区改良事業により、平成18年8月から西川口の集団移転地（小高地区）で建設工事に着手、12月23日から入居が始まりました。

構造は木造高床連棟式で2DKが2戸、3LDKが2戸です。

小規模住宅地区改良事業とは災害などにより住環境の改



▲小高住宅

善が必要とされる地区が対象で住宅の集団的建設を促進するための事業です。対象要件は、被災し「不良住宅」と判定された住宅が地区内の5割かつ15戸以上であること、小規模改良住宅の建設の場合は国がその建設費の3分の2を補助します。耐用年数の4分の1を経過後は、入居者が適正価格で購入することもできます。

小高住宅の概要

構造	木造一部鉄筋コンクリート造		
面積	2DK	居住部分	約55㎡
		高床部分	約50㎡
	3LDK	居住部分	約80㎡
		高床部分	約53㎡
建設戸数	2DK	2戸	
	3LDK	2戸	

県ジュニア展

佐藤雅さん（田麦山小5年）優秀賞に輝く

「第37回県ジュニア美術展覧会」（県教育委員会・新潟日報社などの主催）が開催され、絵画部門で田麦山小学校5年佐藤雅さんの作品が優秀賞に入賞しました。

この美術展は、ジュニアの県展ともいわれ、絵画、版画、デザインの3部門に分かれています。なお、そのほかの入賞者は次のとおりです。

奨励賞（敬称略）

桜井彩樹（田麦山小6年）
笹崎美樹（田麦山小6年）



佐藤雅さん

作品の紹介
がんばったところは、光が当たっている部分と影の色塗りを意識して塗りました。一番大変だったのが鳥居です。堂々と大きく描いたのですが、色使いが難しかったです。苦労しましたがうまくできたとおもっています。絵を描き終わって、自分なりにとても満足しました。



佐藤さんの作品
「堂々とした鳥居と熊野神社」

各種大会・コンクール結果のお知らせ（敬称略）

第35回新潟県課題図書感想文コンクール

優良賞 小宮山深生（川口小1年）

第56回社会を明るくする運動作文コンテスト
努力賞 上村 侑加（川口小6年）

国土緑化運動・育樹運動標語コンクール
奨励賞 江島 拓未（川口中3年）

奨励賞 古田島朝美（川口中3年）

奨励賞 古田島洋樹（川口中3年）

町内スポーツ大会結果

【町民夜間バドミントン大会】
（10月26日～11月30日川口中学校）
Aクラス
1位 池田喬・岩田亮組
2位 今井誠・木村季之組
3位 阿部博幸・赤澤結衣組
Bクラス
1位 関将人・丸山高之組
2位 大野美奈子・佐藤満組
3位 小林悠希・小川美津恵組

表彰するものです。同小学校の受賞は震災から「町の人たちの希望の灯」を合言葉に、文化祭「わかたけまつり」の開催や震災体験集「希望の灯」の作成など、地域の人たちに元気を届ける活動を実施したこと、地震が起きた際の避難や救急方法などを学んでいることが評価されたものです。

2009ほろろ甲子園

奨励賞 川口小学校

学校や地域で防災教育に取り組んでいる子どもや学生を表彰するものです。同小学校の受賞は震災から「町の人たちの希望の灯」を合言葉に、文化祭「わかたけまつり」の開催や震災体験集「希望の灯」の作成など、地域の人たちに元気を届ける活動を実施したこと、地震が起きた際の避難や救急方法などを学んでいることが評価されたものです。



▲救急講習会の様子

雪洞火ぼたる祭を中止します

今年度の雪洞火ぼたる祭は中止となります。

各地区主催の行事の雪灯り製作にロウソクを提供

各地区主催の行事などで雪灯りを製作するときには、ロウソクを提供します。希望される場合は企画商工課（☎89-3112）まで、ご連絡ください。

なお、本数に限りがありますので、希望の本数を提供できないことがあります。予めご了承ください

1月10日は「110番の日」です

事件・事故を見たり聞いたりした時は「110番」してください。携帯電話も「110番」につながります。

急を要さない要望・相談は警察相談専用電話「#9110」、または小千谷警察署におかけください。

問い合わせ
小千谷警察署
☎83-0110

町有宅地を売却します 宅地の購入を考えている方はお早めに

町で造成した西川口地区（川岸）の住宅用地を公募により売却します。

公募する区画 西川口地区4区画
売払い予定価格（1㎡当たり）
2万4,300円～2万6,500円
区画面積 246.31㎡～478.89㎡
※それぞれの区画により異なります。

申込期間
平成19年1月4日～平成19年2月28日
※随時申し込みを受け付けます。
申込方法
申込区画は、原則として一世帯（事業所）で、一区画とします。
※契約条件や土地代金の納入方法など、詳しいことは建設企業課（☎89-3114）にお問い合わせください。



2007 今年は亥年



～新年の抱負紹介～

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は、2年続きの豪雪にはじまり、市町村合併問題や財政再建に向けて動き出すなど、激動の1年でした。
 新しい年を迎えて今年に寄せる思いは人それぞれにあると思います。これらの思いを新年の抱負として、今年の干支である亥年を迎えられた6人の方から語っていただきました。

平成7年生まれ

星野 克也 さん(相川)



この4月からは中学生です。中学生になる前に、やってみたいことがあります。
 それは、家でも毎日2時間くらい勉強することです。
 その訳は、学校で6年生は毎日

家で1時間以上勉強すると決まっているのに、ほとんど1時間もしていないからです。だから、これはぜったいやってみたいのです。
 中学生になってがんばりたいのは、部活動です。ほくは野球部に入ろうと思っています。1年生の初めは球拾いばかりだと思っけど、先輩の動きを見ながら球拾いをして、何事もあきらめずに、レギュラーがとれるようにがんばりたいです。

平成7年生まれ

森山 由未 さん(大形)



わたしは今年、中学生になります。そこががんばりたいことが二つあります。
 一つめは、部活のバレーボールです。中学校に行ったらバレー部に入りたいと思っています

す。それは、部活体験の時に、先輩に親切に教えてもらったおかげで、楽しさがよく分かったからです。サーブなど上手にできるようになりたいです。
 二つめは勉強です。保育士になるために、先生のお話をしっかり聞いて、今から一生懸命勉強しておきたいです。

昭和58年生まれ

森山由佳理 さん(野田)



昨年大学を卒業して、4月から長岡市内の旅館で働いています。もうすぐ入社して1年になります。まだまだ分からないことだらけで勉強の毎日です。昨年は卒業に引越し、入社に

と、新しい環境での生活で、あつという間の一年でした。早く仕事に慣れようと自分のペースを見失って、年末には風邪をこじらせ体調を崩してしまいました。今年は何事にも「マイペースに焦らずゆっくりと、でも確実に。」で頑張ります。昨年のように後半ペースダウンしないようにしたいです。
 あとは、仕事柄言葉づかいには気を付けていますが、つい間違った使い方をしています。正しい日本語を美しく使えるようにしていきたいと思っています。

昭和46年生まれ

吉川 一弘 さん(牛ヶ島)



もう今年で、36歳かー。今働いている会社、川口土建に入社して11年、8年前に結婚して、一昨年待望の長男が生まれた。月日が経つのが早く、あつ

という間に一年が過ぎてしまうような気がする。だからこそ、今年一年は一日一日を大事にして、仕事も遊びも頑張りたいと思う。でも、やっぱり家族が一番に考えて今年一年を過ごしたい。妻の負担が減るように、家事の手伝いをしたり、子供の面倒を見てあげたい。子供も、いろいろな場所に連れて行ってあげたい。
 今年は、良き夫、良き父親になれるように、努力したい。最後に皆さんも、今年一年がよい年であるように頑張りたいです。

昭和34年生まれ

井浦 紀子 さん(川口)



子育ても一段落し、気が付けば人生も折り返し地点。これと言って趣味もなく、家事に仕事にと貧乏暇なしの身ですが、これまで大きな病気もせず健康に過ごしてこられたことが何より

ありがたい事と感じます。
 中越地震では、我が家も大きな被害を受け、未だ修理の終わらない箇所もありますので、今年はその進めたいと思っています。そして、多くの方からいただいた温かい励ましはいつまでも忘れずにいたいものです。
 朝夕は愛犬と散歩、職場ではかわいい子ども達からたくさん元気もらい、今年も健康で明るく穏やかな一年でありますようにと思っています。

昭和22年生まれ

星野 春樹 さん(荒屋)



割りと気にせず、まだまだだと思っていた自分に気が付けば「還暦の年男」。大震災から二年世話になった川中の仮設住宅から退去。何とか再建した自家に同居する様になった孫から

も「ぢいちゃん、髪の毛…」とか何んとか云われても、親のしつけを横目で見ながら、目を細め、目ジリを下げて無し無しの財布のヒモを緩める。「まだまだ還暦されど還暦」。家族はもちろん、孫にとつてカッコイイぢいちゃんでガンバルつもり。今、テレビを見ていた孫が突然云った。「ぢいちゃんアルツハイマーにならないで！」だ

身近な情報をお寄せください! 企画商工課 ☎89-3112

ホットトピックス

元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理

粉ふき煮



手軽にできるじゃがいも料理です。じゃがいもには14~18%のでんぷん質が含まれ、またビタミンCの含有量も多いです。しかも加熱に強いビタミンCです。粉質系は粉ふきいもに、粘質系は煮物に向きます。

●材料 (4人分)

- じゃがいも.....250g
(皮をむいて)
- さとう.....大さじ3
- しょうゆ.....大さじ1½

●作り方

- ①じゃがいもは洗って皮をむき、大きめの乱切りにし水にさらす。
- ②①のじゃがいもを水から茹でる。柔らかくなったら火を止め、大さじ2くらいの水分を鍋に残してあとのお湯を捨てる。
- ③②の鍋を再び火にかけて、さとうを加える。さとうが溶けたら、しょうゆを加えて中火で煮る。
- ④木のしゃもじでかき混ぜ、水分が少なくなったら火をとめる。

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から
涌井 智子 (前原) ☎89-3803
桜井いみ子 (田中) ☎89-2193



手作りおもちゃで園児と交流 川口中学校生徒の保育園訪問

12月5日、12日に川口中学校3年生が東川口保育園を訪問し、手作りのおもちゃで園児たちと交流しました。同中学校の家庭科の授業で、生徒たちは園児たちと交流するため自ら考えた輪なげやポーリング、空気銃などのおもちゃを作成しました。このおもちゃを持って生徒たちが保育園を訪問すると、園児たちは大喜び、おもちゃの使い方を教わりながら一緒に遊びました。生徒たちは元気な園児たちとふれあい、生き生きとした表情で交流していました。

最初は楽しんでもらえるか不安でしたが、楽しんでくれたので良かったです。みんなとってもかわいくて、明るく元気、笑顔で私も笑顔になりました。近寄ってきた名前を覚えてくれたときはうれしかったです。きつと楽しいことだけではなく、大変なこともあると思いますが、保育士という仕事に憧れてしまいました。保育士になりたいな。

園児と交流して

広井 岬さん (川口中3年)

私が担当した年中組は、思っていたよりたくさん言葉を知っていて、行動も早くでき、話をよく聞いてくれました。よく物を触ったり、大きな声を出してたくさんの人に自分の気持ちを伝えようとがんばっているんだなと思いました。とにかく元気で笑顔がたくさんだったので、自分まで元気をもらった気がしました。小さくてもなんでも覚えることができるんだなと思いました。

綱 まどかさん (川口中3年)

復興祈念と感謝の気持ちあふれる 木沢・峠地区住民が復興祭を開催

12月10日、旧木沢小学校体育館において、木沢・峠集落復興祭が開催されました。

これは、再出発したフレンドシップ木沢の活動や今まで地域の復興に支援をいただいた学生ボランティアなど多くの皆さんへ感謝の気持ちを伝え、更なる交流を図りたいとフレンドシップ木沢の主催により開催されたものです。

会場には、朝から県内外の学生など30名が訪れ、会場の準備やそば打ち、餅つきなどを地域の皆さんと一緒に交流を深め、開会の12時までは地域の皆さんも多数集まり、体育館は120名を超える参加者で一杯となりました。



参加者は、用意されたそばや餅、鯉こく、けんちん汁など地元食を十分に堪能したほか、アトラクションで行われた秀和会の皆さんによる舞踊などで楽しい時間を過ごしていました。

主催したフレンドシップ木沢会長の阿部義夫さんは「冬将軍到来前になんとか実施したい一念から役員の皆さんの賛同のもと実施することができました。地区の皆さんが、多くの参加者との交流を新たにし、またの再会を誓い合いながら盛大のうちに終了できました。この復興祭をこれからの活動の弾みにしたいと思います。」と会を振り返っていました。



みんなに元気と勇気を

ど根性! キャベツ

国道17号沿いのガードレール下に「キャベツ」が生えました。

この「ど根性キャベツ」は道路脇のコンクリートのわずかなすき間からたくましく育っており、その姿は自然の持つ生命力の強さを感じさせ、災害などに負けない元氣、勇気を与えてくれます。

「がんばれ! ど根性キャベツ!」



田麦山小児童、長野県の小学校に クリスマスツリーをプレゼント

田麦山小学校の児童が、今年7月の豪雨で被害を受けた長野県岡谷市立上の原小学校に2本のクリスマスツリーを贈りました。

中越地震発生時、上の原小学校児童から自ら育てた米が田麦山小学校に贈られました。これを知った田麦山小学校の児童が、自分たちで育てた大根をあぐりの里で売り、そのお金でクリスマスツリー



クリスマスツリーは飾りつけられ紹介された

2本を購入、ツリーの飾りに「地震のときはありがとう」などのメッセージを添えて贈ったものです。このプレゼントに対し、上の原小学校児童たちから感謝の気持ちを込めた絵やおりがこのほど田麦山小学校に届きました。児童たちの温かい交流が続いています。



田麦山小学校児童が大根を販売